

第5回東海市・知多市病院連携等協議会

日時 平成22年1月29日（金）

午後2時00分～午後2時55分

場所 知多市勤労文化会館 やまももホール

1 開会

○早川事務局長 定刻になりましたので、ただいまから東海市・知多市病院連携等協議会第5回会議を始めさせていただきます。

本日の会議は公開といたします。

菊地委員、愛知県病院事業庁長の二村参与、名古屋大学病院副病院長の後藤参与、藤田保健衛生大学病院副院長の才藤参与には、御欠席の連絡をいただいております。

2 あいさつ

○早川事務局長 初めに渡辺連携協議会会長、あいさつをお願いいたします。

○渡辺会長 知多市副市長の渡辺でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、御多用の中お集まりをいただきまして、まことにありがとうございます。

ここで、病院の経営統合に関しまして御報告をさせていただきます。

協議会の中間報告に基づき、両市が進めておりました経営統合に向け、西知多厚生組合へ病院事業を移管する手続が終了をいたしました。

去る1月14日に愛知県知事から組合の規約変更の許可をいただき、平成22年4月1日から組合名称を「西知多医療厚生組合」とし、同組合において、新病院の建設と病院事業を実施することが決定いたしましたので、御報告をさせていただきます。

地域医療を守る大きな一歩であろうかと思うわけでございます。これもひとえに委員各位の熱意に満ちた御協議、的確なアドバイスをいただきました参与の先生方のおかげと感謝を申し上げる次第でございます。ありがとうございました。

さて、本日の協議会でございますが、第5回、最終回ということでございます。報告書の最終取りまとめをお願いしたいと存じます。

初めに報告事項といたしまして、前回のまとめ、次に中間報告にございました建設候補地の選定作業について現状を御報告させていただき、その後に報告書（案）の御協議をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○早川事務局長 それでは、以後の議事進行につきましては、会長にお願いいたします。

3 議題

(1) 報告事項

ア 前回のまとめ

○渡辺会長 それでは、座って失礼をいたします。本日の会議の議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

早速でございますが、(1) 報告事項のア、前回のまとめに入ります。

事務局、報告をしてください。

○早川事務局長 12月16日に開催いたしました第4回会議の概要と主な御意見を紹介させていただきます。

初めに報告事項としまして、4項目からなる中間報告を取りまとめたこと、また、中間報告書を当協議会から両市長に提出し、これを受けました両市の事務処理について報告をさせていただきました。

また、両市民病院の院長から中間報告を受け、病院統合に向けての思いについて発言がございました。

次に、確認事項では、交通利便性、高齢化の状況から見た「新病院について」、事務局から資料により説明し、御確認をいただきました。

次に、協議事項では、「新病院の建設に向けて」の地域医療と新病院についてと報告書(素案)について、事務局から説明し、委員、参与の方から御意見をいただきました。

初めに、新病院の建設に向けての地域医療では、委員、参与の皆様から、新病院の建設に向けた地域医療のあり方として、市民、診療所等、中核病院の三つの視点から協議を行い、医療関係者、住民らが一体となって地域医療を支えることが必要などといった御意見をいただきました。

次に、新病院の建設に向けての新病院については、病診連携をうまく回すために、地域の診療所から信頼される病院をつくることが必要、総合医を育成する指導医が必要などといった御意見をいただきました。

このほかにも新病院建設に向け、委員から、地域医療の確保と充実に向け、医療関係者、住民、行政職員が情報を共有し、意見交換を通して地域医療について理解を深めることが必要など、多くの御意見が出されました。

次に、報告書（素案）については、全体の構成についての説明にとどめ、次回、第5回協議会前までに委員の御意見、御指摘をいただき、報告書（案）を作成した上で御協議いただくことの御了解をいただきました。

報告事項、前回のまとめについて御報告をさせていただきました。

以上でございます。

○渡辺会長 ありがとうございます。

イ 新病院建設候補地の選定状況について

○渡辺会長 続きまして、イの、新病院建設候補地の選定状況についてに入ります。

さきの中間報告に基づき、両市は候補地の選定作業を進めており、現時点の状況を報告するものでございます。

それでは、事務局、説明を願います。

○下村事務局次長 それでは、（１）報告事項のイ、新病院建設候補地の選定状況について御説明申し上げます。

新病院の建設において用地確保は重要な課題であり、速やかに建設候補地の選定作業を進める必要があるとの中間報告に基づきまして、東海市、知多市の両市長は覚書を締結し、新病院建設用地の選定作業を直ちに共同して進めることといたしました。

ここでは、現在、両市で進めている新病院建設候補地の選定状況について、委員の皆様へ御報告いたします。

資料 1-1 及び資料 1-2 をお願いいたします。

新病院の建設候補地でございます。

候補地の選定の要件として、１点目、両市の市境からおおむね 1 km 以内、２点目として、病院敷地面積として 6 万 m² 以上を確保できる場所、３点目として、利便性を重視し、公共交通のアクセスや救急搬送などに適した場所、４点目として、周辺環境、用地取得に要する期間などを考慮していただき、両市それぞれが建設可能な場所として 3 地区ほど選定しております。

この資料では、両市の選定地区が一部重複しておりましたので、整理記号「A」から「D」までの 4 地区として表示いたしました。

資料 1-2 は、それぞれの地区を図示したもので、太線は都市計画道路等を、A 地区と B 地区の間の点線は市境を示しております。

整理記号「A」は、東海市高横須賀地区周辺の東海知多線沿いの農地で、最寄りの駅は尾張横須賀駅及び高横須賀駅でございます。

次に、整理記号「B」は、信濃川東部地区周辺の東海知多線沿いの農地で、最寄りの駅は寺本駅及び尾張横須賀駅でございます。

次に、整理記号「C」は、知多市緑町北部地区周辺の大田朝倉線沿いの知多市などが所有する広場及び都市公園にしている公共用地で、最寄りの駅は寺本駅でございます。

次に、整理記号「D」は、知多市八幡東部地区周辺の現在の西知多厚生組合に隣接する農地で、最寄りとなる駅としては八幡新田駅がございます。

また、AからDの4地区とも市街化調整区域で、新病院建設のためには、C地区では、都市公園法による一部区域の変更手続、それ以外の地区では、農業振興地域の整備に関する法律による農用地区域からの除外許可や農地法による農地転用許可等の手続が必要となるなど、個別の課題につきましては記載のとおりでございます。

両市で進めている新病院建設候補地の選定状況については以上でございます。

○渡辺会長 御苦労さまでした。

ただいま候補地の選定状況について説明をいただきました。

早急な用地選定が必要との中間報告を受けまして、市境の付近で、新病院建設に必要な面積が確保可能な候補地ということで、両市が検討された状況でございます。

平成22年度以降、新病院建設を含めた病院事業は西知多医療厚生組合で進めていくことになりますが、建設場所につきましては、市の都市計画、まちづくりに深くかかわっておりますので、組合と市が一体となって検討を進め、さまざまな御意見を踏まえながら、組合の正副管理者である両市の市長が最終的に判断されることになると考えております。

なお、この件に関しましては、本協議会の協議事項ではございません。したがって、報告書への記載はございませんが、ちょうどいたしました御意見等につきましては、今後の用地選定に当たっての意見として整理をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、ただいまの説明、また資料について、御意見、御質問等ございましたらお願いをいたします。

よろしいですか。

それでは、用地選定の状況については、これまでといたします。

以上で、(1) 報告事項につきましては終わりといたします。

（２）協議事項

ア 協議会報告書（案）について

○渡辺会長 続きまして、（２）協議事項に入ります。アの、協議会報告書（案）についてを議題といたします。

進め方でございますが、初めに報告書の内容についての協議を行い、取りまとめいただいた後に、次第にはございませんが、報告書を提出するに当たっての意見や要望などの発言をいただく時間を設けたいと考えております。よろしく願いをいたします。

それでは、事務局、資料の説明を願います。

○早川事務局長 前は報告書全体の構成の確認をしていただきました。

また、第４回の協議事項でいただきました御意見等を加筆し、報告書（案）を作成して、年内に委員の皆様へ御送付させていただき御意見をちょうだいした上で、第５回協議会前には配付をと、前回御説明を申し上げました。

委員皆様からの御意見、御指摘をいただいた上で取りまとめをしたものが、お手元の報告書（案）でございます。

年末年始のお忙しい中、多くの御意見、御指摘をいただきまして、大変ありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

お手元の報告書（案）をごらんください。

目次と９ページの間接報告以外のページ、ほとんどすべてのページに修正を加えております。ありがとうございました。

それでは、１ページをお願いいたします。

「Ⅰ はじめに」は、あり方検討会から協議会への流れなどを含め、会長のあいさつの形でまとめさせていただきました。

２ページをお願いいたします。

２ページから４ページにかけましては、「Ⅱ 市民病院の現状」としまして、両市の市民病院の現状のデータを記載しております。

５ページをお願いいたします。

５ページから６ページにかけましては、「Ⅲ 求められる新病院の姿」としまして、４回までにいただきました御意見、御提言を、協議会のまとめと委員皆様からの主な御意見として記載をさせていただきました。

7 ページをお願いいたします。

「Ⅳ 再編等の進め方」も、いただきました御意見、御提言を、協議会のまとめと委員皆様からの主な御意見として記載をさせていただきました。

8 ページをお願いいたします。

「Ⅴ 経営統合の形態」につきましても、同様にまとめさせていただきました。

9 ページをお願いいたします。

「Ⅵ 中間報告」は、10 月 30 日開催の第 3 回協議会でおまとめいただきました中間報告で、両市長へ提出したものでございます。

10 ページをお願いいたします。

10 ページから 11 ページにかけましては、「Ⅶ 新病院の建設に向けて」としまして、地域医療を守るためには何をすべきか、市民、診療所等、中核病院の三つの視点から、委員皆様からの御意見をまとめたものでございます。

12 ページをお願いいたします。

「Ⅷ まとめ」でございますが、報告書の概要、協議の結果を再認識するとともに、市に対する要望や市へのメッセージなどで報告書の最後を締めくくるものでございます。

附属資料につきましては、協議会の概要や、委員、参与の皆様の名簿、協議会の開催状況でございます。

それでは、報告書の 12 ページ、「まとめ」を再度お願いいたします。

まとめにつきまして、もう少し詳しく御説明申し上げます。

まとめは、大きく六つのかたまりで構成しております。上から 4 行は、5 回の協議会を通しての共通の考え方を最初に述べております。次の中段あたり、15 行目の「などと報告した。」までは、第 3 回会議での中間報告の内容について。次の「新病院建設までの」から「基本とすべきである。」までの 4 行は、新病院建設までの医療機能の再編について。次の「新病院の建設」から「計画づくりを進めなければならない。」までの 4 行は、新病院建設計画の留意点について。次の「また、医療体制の充実」から「取り組みとなることが望まれる。」までの 5 行は、地域医療と市民、市民病院等のかかわりについて。最後の 4 行は、今後の取り組みについての要望を述べ、まとめとしております。

それでは、ここで一度、まとめを朗読させていただきます。

Ⅷ まとめ

協議会での 5 回にわたる会議では、「東海市民病院と知多市民病院の経営状況は非

常に厳しく、新病院建設を早期に実現することが、医師の確保や施設修繕経費の節減につながるとともに、スケールメリットを生かした医療機能の向上なども期待できる。」ことを確認した。

特に、第3回会議では、経営統合の方法、経営形態、新病院の規模及び場所など取り急ぎ対応すべき内容について中間報告として取りまとめた。

経営統合の方法については、速やかな実現に向けて、両市が共同で設置している既存の一部事務組合「西知多厚生組合」への病院事業の移管が適当であり、経営形態については、厳しい経営状況の中での円滑な統合を考慮して、現状の地方公営企業法の一部適用とするものの、新病院の運営に向けて、地方公営企業法の全部適用や地方独立行政法人化の検討を考慮すべきとした。また、新病院の規模などについては、地域完結型の中核病院としての役割を果たすために必要な500床程度の病床数を確保し、両市の市民に理解が得られやすい市境付近の交通の利便に優れた場所において、出来るだけ早期に建設することが望ましく、さらに、建設場所は、最優先で解決すべき課題であることから、早急に選定作業を進める必要があるなどと報告した。

新病院建設までの過渡期における医療機能の再編の進め方は、医療機能の向上、特に救急医療の確保を重点に、経営の改善と新病院への移行を円滑に実現していくための取り組みを着実に進める必要があり、いずれの段階においても、市民が安心して医療を受けられる体制づくりを基本とすべきである。

新病院の建設に向けては、地域が必要とする医療機能のすべてを新病院が担うことは不可能であることから、地域の開業医などとの連携と役割分担により、地域完結型の医療体制を築き上げていくことが必要との認識に立って、新病院に必要な診療科や機能などを見極めた計画づくりを進めなければならない。

また、医療体制の充実には、中核病院としての機能確保や開業医との連携・協力と合わせ、市民に地域医療を守り育てるという意識を醸成して、適切な受診行動につなげていく必要がある。そのためには、開業医など地域の医療関係者と市民などが情報を共有し、お互いの立場や関わり方を相互に理解できる場を設け、医療に対する地域ぐるみの取り組みとなることが望まれる。

最後に、医療を取り巻く状況の変化は激しく、短期間の内に急激な機能低下に陥る危険性もあることから、両市には、強い意思と情熱を持って、医師確保の働きか

けを大学などへ積極的に行うとともに、「地域医療を守り、市民の安心と健康を確保していく。」ため、スピード感をもって新病院建設に取り組まれることを望むものである。

以上、まとめを朗読させていただきました。

協議事項のア、協議会報告書（案）についての説明を以上で終わります。よろしくお願いいたします。

○渡辺会長 御苦労さまでした。

ただいま報告書（案）について説明をさせました。報告書の素案をもとに、委員、参与の皆様方々からちょうだいいたしました意見を盛り込み、整理をいたしましたものでございます。

御意見、お気づきの点などございましたらお願いをいたします。

よろしいですか。

ないようでございますので、この報告書（案）をもって、東海市・知多市病院連携等協議会の報告書としてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○渡辺会長 ありがとうございます。異議なしのお声をいただきました。

それでは、協議会といたしまして、この報告書（案）をもって、東海市・知多市病院連携等協議会の報告書とさせていただきます。ありがとうございました。

この報告書につきましては、後ほど両市長に提出させていただきますが、この際、提出に当たりまして、今後の取り組み等について、委員、参与の先生方から御意見、御要望等ございましたら、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

よろしいですか。

ここで、名古屋大学病院の副病院長、後藤参与から、本日、協議会を欠席してみえますけれども、欠席に当たりましてコメントをいただいておりますので、御披露をさせていただきます。

両市民病院の院長先生へということで、「医療現場サイドの話となりますが、一日も早い完全統合を目指し、病院間での医療連携に向けての話し合いを、4月を待たずに両院長先生を中心に早急に進められることを提案させていただきます」とのコメントをいただいております。よろしくお願いいたします。

あと、県医師会理事の牧参与、いかがでしょうか。何かございましたら、よろしくお願いいたします。

いいいたします。

○牧参与 まず、こういう催しが、一般の市民の方の代表も加えられまして非常に熱心な御討議をいただいたことに非常に印象深く思っており、また、別な意味で大変心強く思います。

恐らくこういう基幹病院というか、市民病院というのは、地域医療の連携のかぎになる場所だと思うんです。将来的に考えると、やっぱり限られた医療資源、例えば人、物、金、そういうものをいかに効率的に利用するのか。地域の病院、診療所のみならず、保健所とか調剤薬局、老人保健施設あるいは介護施設、訪問看護ステーション、そういう方々だけではなくて、住民との連携も視野に入れなければいけないと思います。

その中で、病院という点ではなくて、ネットワークを考えた面で、この地域全体で考えていただきたい。それで地域を支える。患者さんを連携のステークホルダーといいますか、プレーヤーとして考える。そういう視点も必要だろうと。医療が変われば、地域が変わるんだという視点も大事ではないかと思っています。

みずからの健康を守る住民の意識というのが自治体病院を守るわけです。例えば、自治体というのは、普通医療支出は 10%前後だと思うんですけれども、それは病院の繰出金と国保の会計特別支援という枠があると思うんですけれども、高齢者が激増しますと、当然国保加入者が増えます。そこでまた医療費が上がる、国保の支援金も上がるという図式があるんです。

では、国保の支援金をどうやって減らすのか。例えば、糖尿病の腎症なんかを積極的に介入して透析率を減らしたという時期がありまして、これだけで年間 7,000 万円浮かせているんです。そうすると、そういう財源があれば、病院の支援に回せるわけです。だから、そういう意味では、住民の方々の意識は大変大事だと思います。

あと一つ大事なことは、やっぱり病院の中で、地域の病院の役割は、いわゆるジェネラリストを育てること。総合内科を病院機能の中心に持ってこられた方がいいのではないかな。その上で、知多半島には三つの市民病院がありますから、この三つの市民病院が単独で機能するのではなくて、お互いに連携し合って機能する。例えば研修医も、この三つの病院でスーパーローテートをするぐらいのことを大学に訴えられた方が、私は時代の方角には合っていると思うんです。

今後やると決めたからには、今、後藤参与のコメントにありましたように、迅速果敢に挑んで、全国のモデルになるような立派な病院にできるといいなと私は思っております。

以上でございます。

○渡辺会長 どうもありがとうございました。

医療資源の活用とか、住民を視野に入れたネットワークとしての考え方、さらには病院機能についてというところまで踏み込んだ貴重な御意見をいただきました。御意見につきましては会議録等に記録をし、改めて両市長の方に報告をさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

あとよろしいですか。

ないようでございます。

以上をもちまして、本協議会の議事内容につきましては、すべて終了をいたしました。御協力ありがとうございました。

それでは、ここで事務局に会の進行をお渡しいたしますので、よろしくお願いいたします。

○早川事務局長 それでは、後ほど市長さんに入ってくださいまして、正副会長から報告書を提出させていただきたいと思います。

準備の都合上、今から約 15 分間休憩とさせていただきます。

[休 憩]

○早川事務局長 休憩前に引き続きまして、始めさせていただきます。

それでは、報告書を両市長に提出したいと存じます。

会長、副会長、市長さん、よろしくお願いいたします。

○渡辺会長 それでは報告させていただきます。

東海市・知多市病院連携等協議会は、昨年 7 月 3 日の第 1 回会議から、本日の第 5 回会議まで、両市民病院の経営統合による医療機能の再編等について、具体的な協議を進めてまいりました。

第 3 回協議会終了後には、経営統合の方法、経営形態、新病院の規模及び場所など、早急に対処すべき事柄について中間報告を行いましたが、新病院建設に向けては、地域の医療関係者との連携、役割分担により、地域完結型の病院としての診療科や機能などを見きわめた計画づくりを進めること。

医療体制の充実には、中核病院としての機能確保や医療に対する地域ぐるみの取り組みを望むものでございます。

医療を取り巻く状況の変化は著しく、短期間のうちに急激な機能低下に陥る危険性もあることから、地域医療を守り、市民の安心と健康を確保していくため、スピード感を持つ

て新病院建設に取り組まれることを望むものであります。

東海市・知多市病院連携等協議会。

よろしくお願いします。

〔報告書提出〕

○早川事務局長　それでは、ここで両市長からあいさつをお願いしたいと存じます。

初めに、東海市長さん、お願いいたします。

○東海市長（鈴木）　昨年７月から半年にわたり５回の会議をお願いいたしましたわけですが、市内の各組織の代表として御参加をいただきました委員の皆さん、そして、参与としてお力添えをいただきました二村先生、後藤先生、才藤先生、牧先生には、大変御多忙にもかかわらず、積極的に協議会に御参加をいただきました。この場をおかりして、皆様方に心から厚くお礼を申し上げたいと思います。

ただいま協議会で取りまとめられた報告書をいただいたところでございますが、御案内のように、昨年、第３回の協議会で取りまとめられた中間報告を受けまして、知多市さんとともに、病院の経営と新病院建設を進めるため、市議会の御賛同をいただき、一部事務組合の西知多厚生組合に病院事業を移す手続を進めておりましたが、今月１４日付で、愛知県知事から許可をいただいたところでございます。

４月１日からは組合の名称を西知多医療厚生組合といたしまして、衛生センターの業務に加え、病院運営と新病院建設を進める運びとなりましたことを御報告させていただきます。

これもひとえに委員、参与の皆様の真摯で、熱意に満ちた御議論のおかげと感謝申し上げる次第でございます。

平成２２年度以降、病院事業は西知多医療厚生組合で進めていくこととなりますが、この協議会報告書を尊重し、知多市さんと一緒に地域医療を守り、市民の安心と健康を守るため、スピード感を持って取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

また、これから新病院建設を進めるに当たりましては、まず市民の皆さんの御理解と、そして一部事務組合や市議会議員の皆さんの御理解がますます重要になってくると思っていますところでございます。

本協議会は終了いたしますが、地域医療の確保、充実に向け、今後とも委員、参与の皆様方には、ひとつ御理解と御協力をお願い申し上げまして、お礼のあいさつとさせていただきます。

できます。

長期間にわたり熱心に御協議をいただき、本当にありがとうございました。

○早川事務局長　ありがとうございました。

続きまして、知多市長、お願いいたします。

○知多市長（加藤）　どうも皆さん、こんにちは。紹介いただきました知多市長の加藤でございます。一言お礼のごあいさつを申し述べたいと思います。

初めに、東海市・知多市病院連携等協議会の委員として、市議会を初め、市のさまざまな立場から御参加いただき、また参与として、愛知県病院事業庁の二村事業庁長、名古屋大学医学部附属病院の後藤副病院長、藤田保健衛生大学病院の才藤副院長及び、愛知県医師会の牧理事に御参加をいただき、計５回の会議を重ね、報告書を取りまとめていただいたことを、まずもって心より御礼を申し上げます。大変ありがとうございました。

本協議会の報告書や、委員、参与からの御意見から、現在の医療を取り巻く厳しい状況に立ち向かい、地域医療を守るための医療機能の再編、すなわち、新病院の建設を進める上ではスピードが大事であるということを改めて実感いたしました。

ただいま東海市の鈴木市長さんのごあいさつにもございましたが、市議会の御賛同をいただき、平成２２年度からは東海市さんと一緒に、西知多医療厚生組合において病院事業を運営してまいります。

本協議会において幅広い視点から報告していただいた内容を尊重し、この地域に安心して信頼される医療を確保できるよう組合議会や市議会と相談を重ねながら、スピード感を持って新病院の建設に取り組んでいかななくてはならないと考えております。

また、最も重要なことであります中身の充実に向け、名古屋大学医学部や藤田保健衛生大学医学部などのお力添えをいただけるように、東海市長さんと協力して、医師確保のお願いをしてまいります。

今後とも委員、参与の皆さん方のお力添えをいただきながら、地域にふさわしい中核病院を切り開いてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日はまことにありがとうございました。

○早川事務局長　ありがとうございました。

それでは、会長に会の進行をお返しいたします。よろしくお願いいたします。

○渡辺会長　ありがとうございました。

これをもちまして、第５回東海市・知多市病院連携等協議会の会議を終了させていただきます。

きます。皆様方の熱心な御協議、御協力を得まして、会長、副会長ともども職責を果たすことができました。どうもありがとうございました。

[了]